交通安全のために

～令和６年中の交通事故から～

横断歩道は歩行者優先！
歩行者がいたら一時停止を！

歩行者も“ハンドサイン”で自分の命を守りましょう

三 重 県 警 察 本 部

三重県交通安全県民運動スローガン
やさしさが　安全つなぐ　三重の道
～　歩行者の　ハンドサインは　赤信号　～

目　次

第１　全国の交通事故発生状況 …… 1

第２　交通情勢からみた三重県の位置 …… 2

第３　三重県の交通事故発生状況 …… 3～16

1　交通事故発生状況 …… 3
2　過去10年の年別推移 …… 3
3　市町別 …… 4･5
4　月別 …… 6
5　曜日別 …… 6
6　時間別 …… 7
7　路線別 …… 7
8　地形･道路形状･道路線形別 …… 8
9　事故類型別 …… 9
10　第1当事者の年齢層別 …… 10
11　第1当事者の事故原因別 …… 11
12　第1当事者の職業別 …… 12
13　死傷者の年齢層別 …… 13
14　死傷者の状態別 …… 14
15　シートベルトの着用状況 …… 15
16　二輪車運転者のヘルメット着用状況 …… 16

第４　各種の交通事故 …… 17～26

1　子供の交通事故 …… 17
2　高校生の交通事故 …… 18
3　高齢者の交通事故
(1) 全体 …… 19
(2) 高齢運転者 …… 20
4　歩行者の交通事故 …… 21
5　自転車の交通事故
(1) 全体 …… 22
(2) 年齢別のヘルメット着用状況 …… 23
6　二輪車の交通事故 …… 24
7　若年運転者の交通事故 …… 25
8　飲酒運転の交通事故 …… 26

● 用 語 の 意 味 ●

★ 交 通 事 故 …… 路上において、車両及び列車の交通によって起こされた事故で、人身事故及び物件事故をいう。

★ 人 身 事 故 …… 人の死傷を伴う交通事故をいう。

★ 物 件 事 故 …… 物の損壊のみの交通事故をいう。

★ 死 亡 事 故 …… 人身事故のうち、人の死亡を伴う交通事故をいう。

★ 死　　者 …… 交通事故発生後24時間以内に死亡した者をいう。

★ 第１当事者 …… 交通事故に関与した人のうち、過失が最も重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者をいう。

★ 構　成　率 …… 全体(合計)に占める各項目の構成割合をいい、四捨五入してあるので合計と一致しないものもある。

★ 致　死　率 …… 死者数／全死傷者数×１００をいう。

★ 死 傷 者 率 …… 全死傷者数に占める各種の交通事故（子供・高校生の交通事故等）の死傷者数の構成割合をいう。

★ 事 故 類 型 …… まず、事故を当事者の種類(人又は車両)によって類型化し、次いで当事者の事故時の行動等(動き、位置、衝突物等)によって更に細かく類型化したもの。

★ 状　態　別 …… 事故当事者の事故当時の状態（自動車運転中、自動車同乗中、歩行中等）をいう。

★ 車　両　等 …… 自動車、二輪車(原付車を含む)、自転車をいう。

※ 合計等が内訳の数字の和と一致しない場合がある。

■車両の事故原因

◇**信号無視** ・・・・・・・・・・・・・・・信号機の設けられている交差点で、赤又は黄色信号等を無視して交差点に進入して事故を起こした場合等をいう。

◇**通行区分** ・・・・・・・・・・・・・・・センターラインを超えて、対向車線に進入して対向車と正面衝突した場合等をいう。

◇**追い越し** ・・・・・・・・・・・・・・・追い越し禁止場所や無理な追い越しをして、対向車等と衝突した場合をいう。

◇**最高速度** ・・・・・・・・・・・・・・・法定（指定）速度を超えて走行したため、歩行者の発見が遅れて衝突したり、カーブ路を曲がれなかったために事故を起こした場合等をいう。

◇**歩行者妨害等** ・・・・・・・・・・・・横断歩道を横断中の歩行者や自転車横断帯を横断中の自転車の発見が遅れたために衝突した場合等をいう。

◇**一時不停止** ・・・・・・・・・・・・・・一時停止の標識・道路標示のある交差点で、一時停止することなく、交差点に進入したために交差道路から走行してきた車両と衝突した場合等をいう。

◇**酒酔い** ・・・・・・・・・・・・・・・・・飲酒により正常な運転ができない状態で、車両を運転したために事故を起こした場合をいう。

◇**右・左折** ・・・・・・・・・・・・・・・右・左折禁止場所で右・左折をしたために事故を起こしたり、原付の二段階右折をしなかったために事故を起こした場合等をいう。

◇**優先通行妨害** ・・・・・・・・・・・・交差点で右折する時に直進車両と衝突したり、明らかに優先道路を走行している車両と衝突した場合等をいう。

◇**交差点安全進行** ・・・・・・・・・・交差点で、交差道路から走行してきた車両に特に注意しなかったために衝突したり、反対方向からの右折車両に特に注意しなかったために衝突した場合等をいう。

◇**徐行場所** ・・・・・・・・・・・・・・・左右の見とおしの悪い交差点や急な道路の曲がりかど付近等で減速徐行しなかったために交差道路から走行してきた車両や対向車と衝突した場合等をいう。

◇**ハンドル・ブレーキ操作** ・・・ カーブ路等で急ハンドルを切ったためにガードレールに衝突したり、急ブレーキを踏んだためにスリップして前車に追突した場合等をいう。

◇**前方不注意** ・・・・・・・・・・・・・ 考え事やぼんやりしていたり、脇見をしていたために前を良く見ていなかったために停止した前車に気づくのが遅れ追突した場合をいう。

◇**動静不注視** ・・・・・・・・・・・・・ 相手（車両・歩行者）の動きを良く見ていなかったために、相手の動きに対応できずに衝突した場合等をいう。

◇**安全不確認** ・・・・・・・・・・・・・ 前方・左右・後方に対する安全確認を怠ったために衝突した場合等をいう。

◇**安全速度** ・・・・・・・・・・・・・・・カーブ路等で道路状況・環境に応じた速度で走行しなかったために路外へ逸脱したり、飛び出した歩行者と衝突した場合等をいう。

■歩行者の事故原因

◇**飛び出し** ・・・・・・・・・・・・・・・安全を確認しないで路上に飛び出したために、車両等と衝突した場合をいう。

◇**車両の前後横断** ・・・・・・・・・・駐車車両の直前・直後から横断したり、走行車両の直前・直後から横断したために車両等と衝突した場合をいう。

◇**横断歩道外横断** ・・・・・・・・・・横断歩道が付近にある場所で横断歩道を利用せずに横断したために車両等と衝突した場合をいう。

◇**横断禁止場所横断** ・・・・・・・道路標識又は道路標示により横断が禁止されている道路で横断したために車両等と衝突した場合をいう。

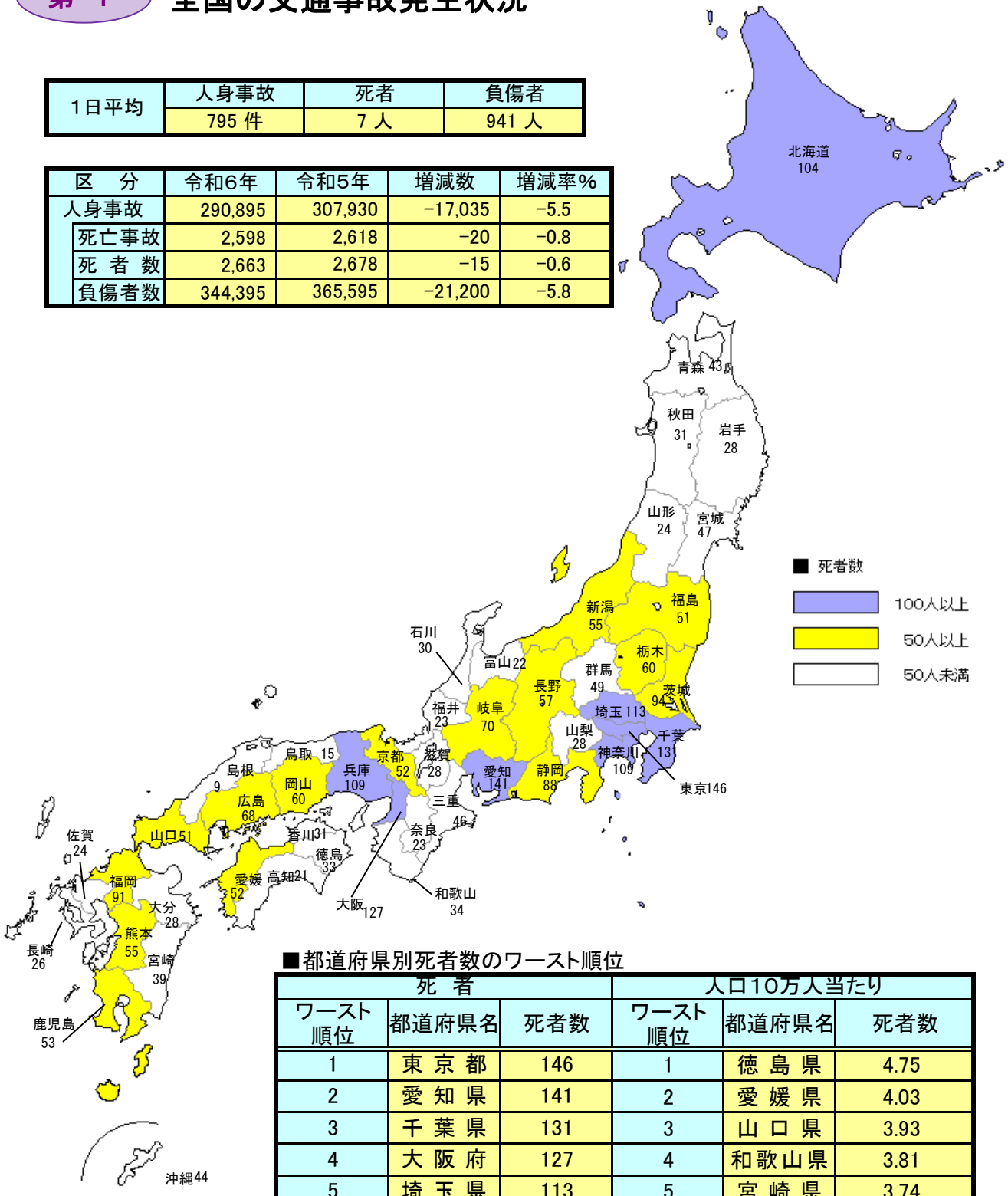
◇**幼児のひとり歩き** ・・・・・・・・・児童等（13歳未満）が保護者を伴わずに一人歩きをしていたために、車両等と衝突した場合をいう。

◇**めいてい・はいかい** ・・・・・・・道路において、酒に酔ってふらついていたり、寝そべり等の交通妨害をしていたために車両等と衝突した場合をいう。

第 1　全国の交通事故発生状況

1日平均	人身事故	死者	負傷者
	795 件	7 人	941 人

区　分		令和6年	令和5年	増減数	増減率%
人身事故		290,895	307,930	−17,035	−5.5
	死亡事故	2,598	2,618	−20	−0.8
	死 者 数	2,663	2,678	−15	−0.6
	負傷者数	344,395	365,595	−21,200	−5.8



■都道府県別死者数のワースト順位

死　者			人口10万人当たり		
ワースト順位	都道府県名	死者数	ワースト順位	都道府県名	死者数
1	東 京 都	146	1	徳 島 県	4.75
2	愛 知 県	141	2	愛 媛 県	4.03
3	千 葉 県	131	3	山 口 県	3.93
4	大 阪 府	127	4	和歌山県	3.81
5	埼 玉 県	113	5	宮 崎 県	3.74
6	神奈川県	109	6	青 森 県	3.63
6	兵 庫 県	109	7	岐 阜 県	3.63
8	北 海 道	104	8	山 梨 県	3.52
9	茨 城 県	94	9	鹿児島県	3.42
10	福 岡 県	91	10	秋 田 県	3.39
26	三 重 県	46	24	三 重 県	2.66

※人口10万人当たりの死者数は、総務省資料「令和5年10月1日現在推計人口」を使用しています。

第 2　交通情勢からみた三重県の位置

区　分		三重県	順位	全国	備考
人口（人）		1,727,000	22	124,352,000	令5.10.1現在
面積（㎢）		5,774.48	25	377,975.64	令6.10.1現在
道路実延長（km）		25,587.5	17	1,136,709.8	令5.3.31現在
免許	人口（人）	1,236,139	22	81,742,303	令6.12.31現在
	保有率（%）	71.58	10	65.73	
	県民1.4に1人の割合			国民1.52に1人の割合	
自動車	台数(原付・小特除く)（台）	1,540,794	21	83,048,158	令5.12.31現在
	保有率（台数／人口(%)）	89.22	12	66.78	
原付	台数(1・2種)（台）	95,021	20	6,340,958	令5.7.1現在
	保有率（台数／人口(%)）	5.50	19	5.10	
交通事故	人身事故件数	2,724	26	290,895	令6年中（ワースト順位）
	人口10万人当たり	157.73	37	233.93	
	死者数	46	26	2,663	
	人口10万人当たり	2.64	24	2.14	

備考

- 人口は、総務省資料によって算出しています。
- 面積は、国土地理院資料によって算出しています。
- 道路実延長、自動車台数は、国土交通省資料によって、原付台数は、総務省資料によって算出しています。
- 人口10万人当たりの算出根拠は、総務省資料の「令和5年10月1日現在推計人口」です。

第 3　三重県の交通事故発生状況

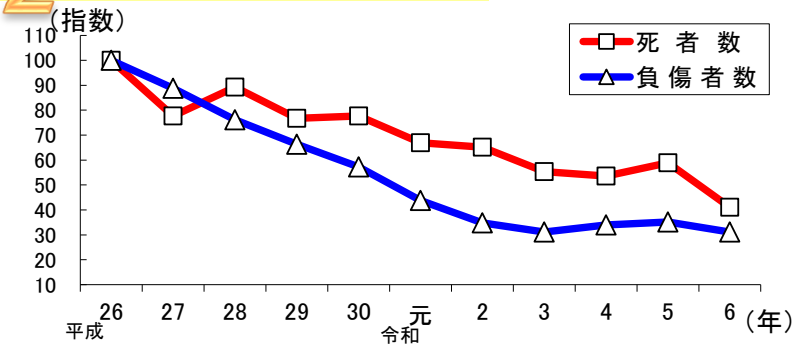
1 交通事故発生状況

区　分	人身事故	死者	負傷者
1 日 平 均	7.5 件	0.1 人	9.1 人

区　分		令和6年	令和5年	増減数	増減率%
人 身 事 故		2,724	2,976	−252	−8.5
	死亡事故	45	61	−16	−26.2
	死 者 数	46	66	−20	−30.3
	負傷者数	3,334	3,767	−433	−11.5
物 件 事 故		53,056	52,121	935	1.8

令和6年中、三重県では、約190分に1件の人身事故が発生しており、約8日に1人が死亡、約160分に1人が負傷しています。

2 過去10年の年別推移



令和6年中の三重県内における交通事故死者数は、10年前の平成26年と比べると約40%に減少しました。

※指数は、平成26年を100とした場合の各年の値です。

年＼項目	人身事故 発生件数	指数	死者数	指数	負傷者数	指数	物件事故	指数
平成 26 年	8,100	100	112	100	10,717	100	54,342	100
27 年	7,169	89	87	78	9,517	89	54,505	99
28 年	6,038	75	100	89	8,158	76	54,994	99
29 年	5,441	67	86	77	7,113	66	56,464	100
30 年	4,687	58	87	78	6,136	57	55,885	103
令和 元 年	3,647	45	75	67	4,688	44	53,809	102
2 年	2,966	37	73	65	3,732	35	46,250	98
3 年	2,722	34	62	55	3,338	31	47,143	84
4 年	2,917	36	60	54	3,638	34	49,553	86
5 年	2,976	37	66	59	3,767	35	52,121	90
6 年	2,724	34	46	41	3,334	31	53,056	95
平成26～令和5年平均	4,666	—	81	—	6,080	—	52,785	—

■統計を取り始めた昭和29年以降における死者の最高を記録した年の発生状況

昭和46年	9,495	—	352	—	13,243	—	10,293	—

■統計を取り始めた昭和29年以降における死者の最低を記録した年の発生状況

令和6年	2,724	—	46	—	3,334	—	53,056	—

3 市町別

人口10万人以上の6市(桑名市・四日市市・鈴鹿市・津市・松阪市・伊勢市)で、人身事故の71.1%(1,938件)が発生しています。

●最多・・・・・四日市市　　559件(20.5%)

●最少・・・・・大紀町　　2件(0.1%)

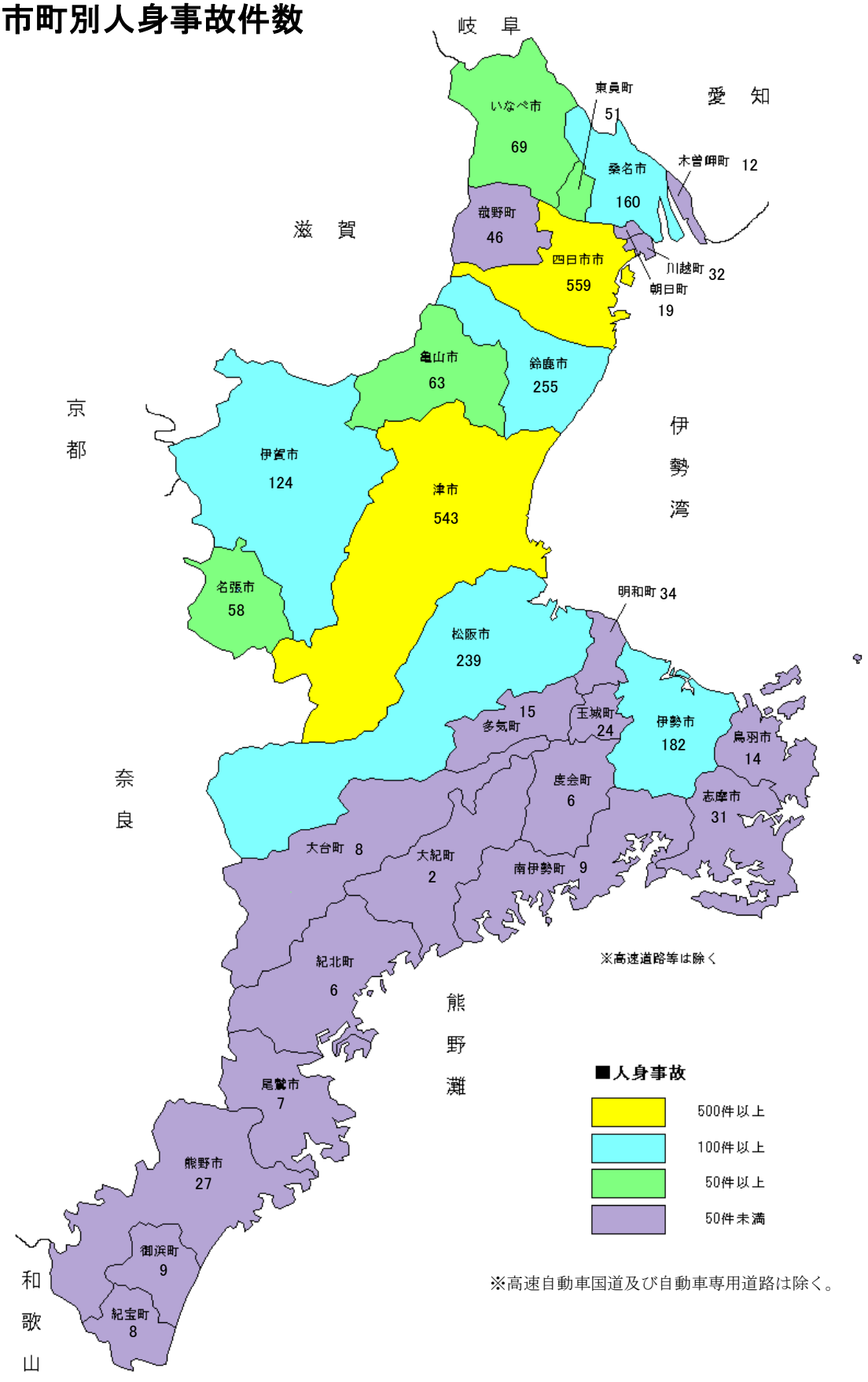
※高速隊分を除く。

署	市町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
桑名	桑名市	160	3	194
	木曽岬町	12	0	12
いなべ	いなべ市	69	1	87
	東員町	51	0	62
四日市北	四日市市	184	0	224
	朝日町	19	0	21
	川越町	32	0	37
四日市南	四日市市	359	3	423
四日市西	四日市市	16	1	16
	菰野町	46	2	53
(四日市市計)		559	4	663
亀山	亀山市	63	3	80
鈴鹿	鈴鹿市	255	5	326
津	津市	377	4	465
津南	津市	166	1	193
(津市計)		543	5	658
松阪	松阪市	239	10	282
	多気町	15	0	18
	明和町	34	1	38

署	市町	人身事故		
		件数	死者	負傷者
大台	大台町	8	0	8
	大紀町	2	0	2
伊勢	伊勢市	182	2	212
	玉城町	24	0	33
	度会町	6	0	6
	南伊勢町	9	1	15
鳥羽	鳥羽市	14	0	16
	志摩市	31	0	36
尾鷲	尾鷲市	7	0	7
	紀北町	6	0	8
熊野	熊野市	27	1	36
紀宝	熊野市	0	0	0
	御浜町	9	0	12
	紀宝町	8	0	9
(熊野市計)		27	1	36
伊賀	伊賀市	118	2	139
名張	名張市	58	2	62
	伊賀市	6	1	5
(伊賀市計)		124	3	144

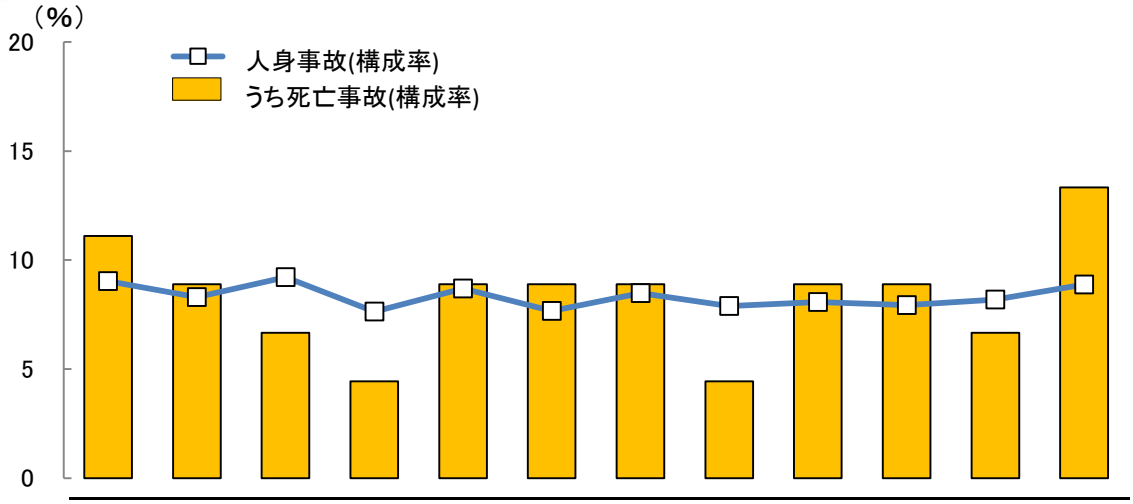
高速隊	112	3	197
合計	2,724	46	3,334

市町別人身事故件数



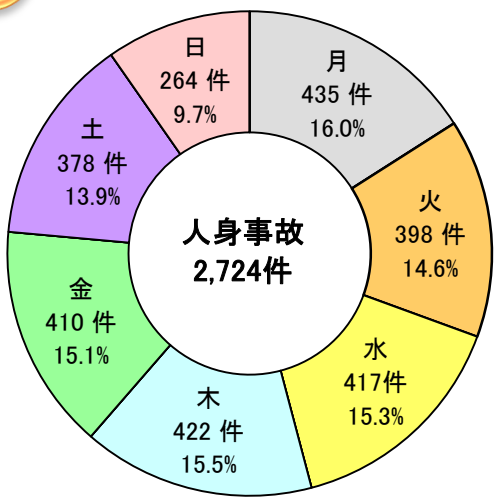
※高速自動車国道及び自動車専用道路は除く。

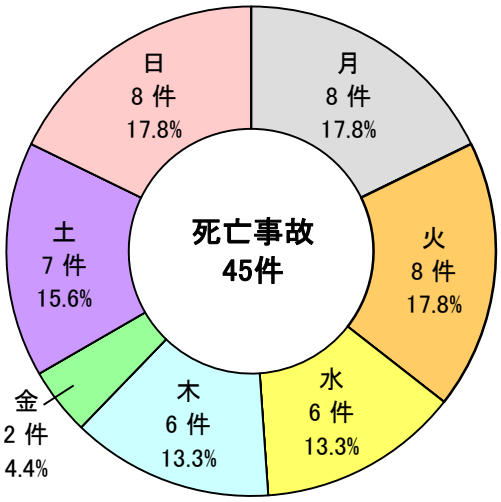
4 月別



項目＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
人身事故(件)	246	226	251	208	237	209	231	215	220	216	223	242	2,724
構成率	9.0	8.3	9.2	7.6	8.7	7.7	8.5	7.9	8.1	7.9	8.2	8.9	100.0
うち死亡事故(件)	5	4	3	2	4	4	4	2	4	4	3	6	45
構成率	11.1	8.9	6.7	4.4	8.9	8.9	8.9	4.4	8.9	8.9	6.7	13.3	100.0

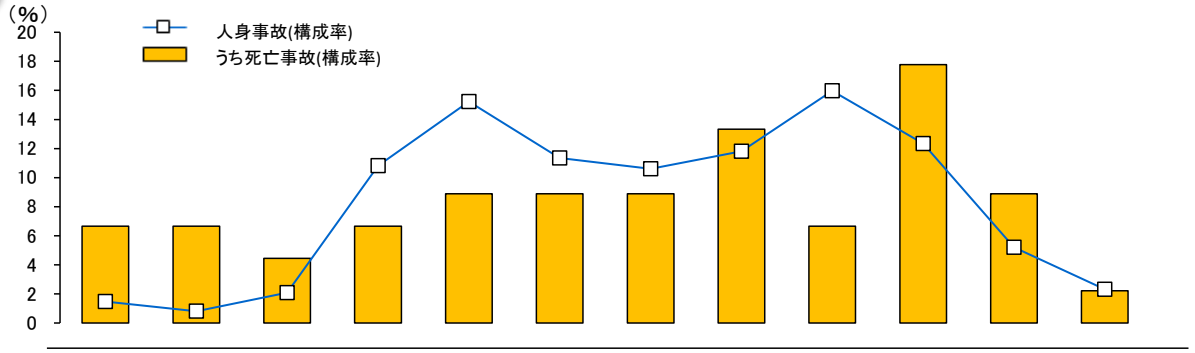
5 曜日別





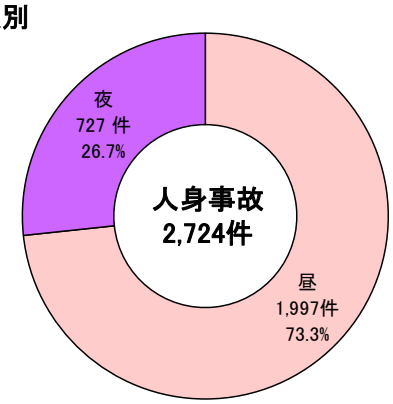
項目＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
人身事故(件)	435	398	417	422	410	378	264	2,724
構成率	16.0	14.6	15.3	15.5	15.1	13.9	9.7	100.0
うち死亡事故(件)	8	8	6	6	2	7	8	45
構成率	17.8	17.8	13.3	13.3	4.4	15.6	17.8	100.0

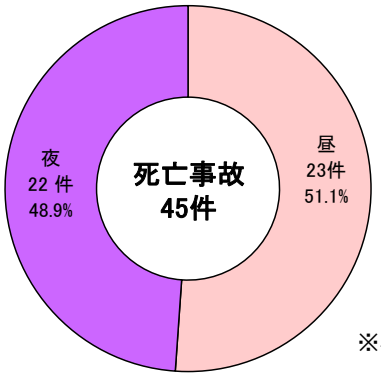
6 時間別



項目＼時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
人身事故(件)	40	22	57	295	415	309	289	322	435	336	141	63	2,724
構成率	1.5	0.8	2.1	10.8	15.2	11.3	10.6	11.8	16.0	12.3	5.2	2.3	100.0
うち死亡事故(件)	3	3	2	3	4	4	4	6	3	8	4	1	45
構成率	6.7	6.7	4.4	6.7	8.9	8.9	8.9	13.3	6.7	17.8	8.9	2.2	100.0

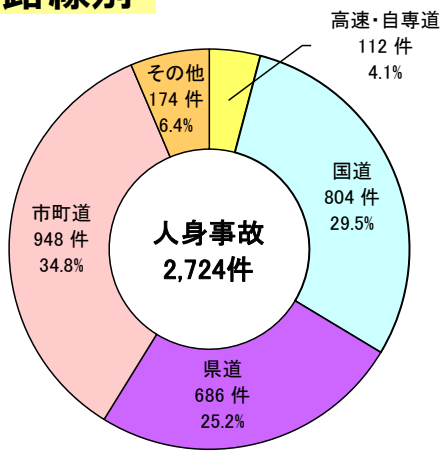
☆昼夜別

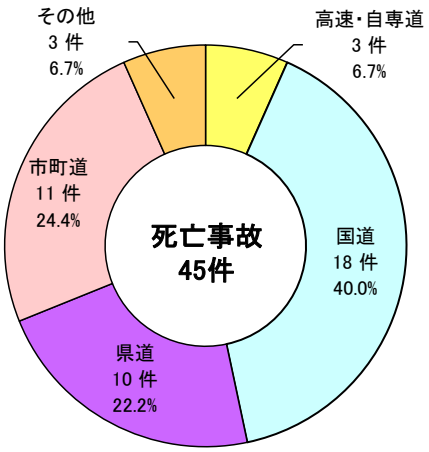




※昼は日の出から日没まで

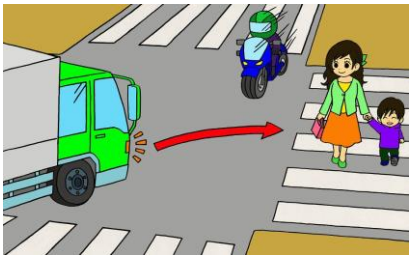
7 路線別





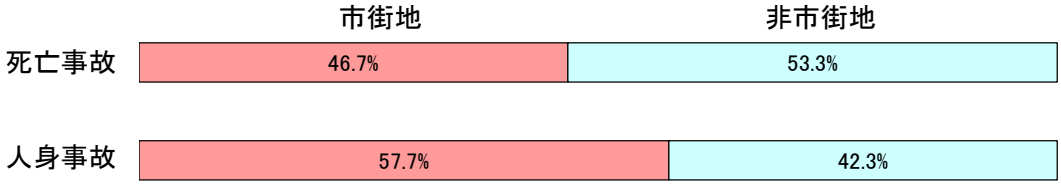
項目＼路線	高速	自専道				国道					県道			市道	町道	その他	合計
		名阪国道	熊野尾鷲	東海環状	小計	1号	23号	42号	他	小計	主要	一般	小計				
人身事故(件)	87	22	2	1	25	93	335	48	328	804	373	313	686	865	83	174	2,724
構成率	3.2	0.8	0.1	0.0	0.9	3.4	12.3	1.8	12.0	29.5	13.7	11.5	25.2	31.8	3.0	6.4	100.0
うち死亡事故(件)	3	0	0	0	0	1	5	1	11	18	4	6	10	11	0	3	45
構成率	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	11.1	2.2	24.4	40.0	8.9	13.3	22.2	24.4	0.0	6.7	100.0

8 地形・道路形状・道路線形別

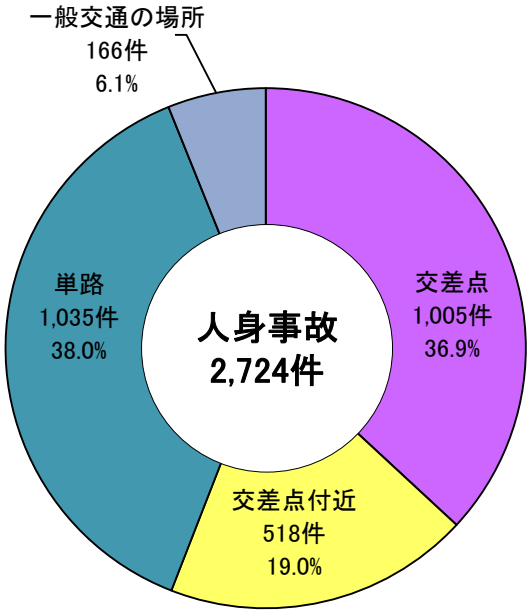


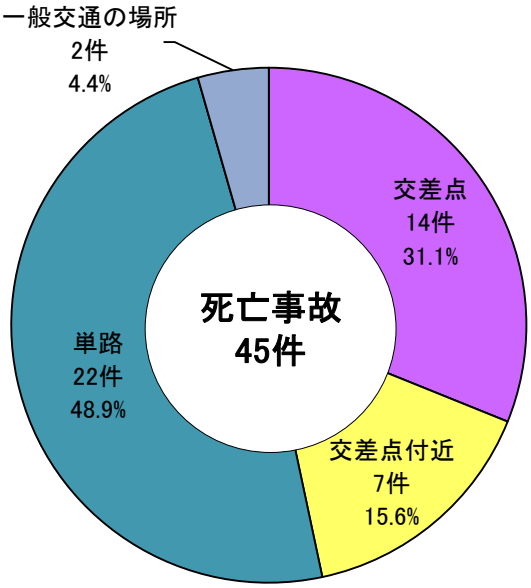
死亡事故は非市街地、人身事故は市街地で、多く発生しています。人身事故の55.9%、死亡事故の46.7%は交差点や交差点付近で発生しています。

●交差点では、信号や一時停止規制を守り、左右の安全を確認しましょう。
特に、歩行者や自転車の横断に注意しましょう。



※市街地とは、建造物が連立し、又はこれらが混在しており、市街地的形態をなしている地域をいいます。





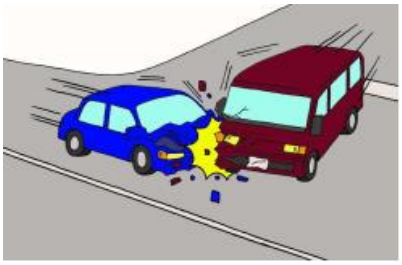
☆道路形状別

区　分	環状交差点	交差点	環状交差点付近	交差点付近	単路	踏切	一般交通の場所	合計
人身事故(件)	0	1,005	0	518	1,035	0	166	2,724
構成率	0.0	36.9	0.0	19.0	38.0	0.0	6.1	100.0
うち死亡事故(件)	0	14	0	7	22	0	2	45
構成率	0.0	31.1	0.0	15.6	48.9	0.0	4.4	100.0

☆道路線形別

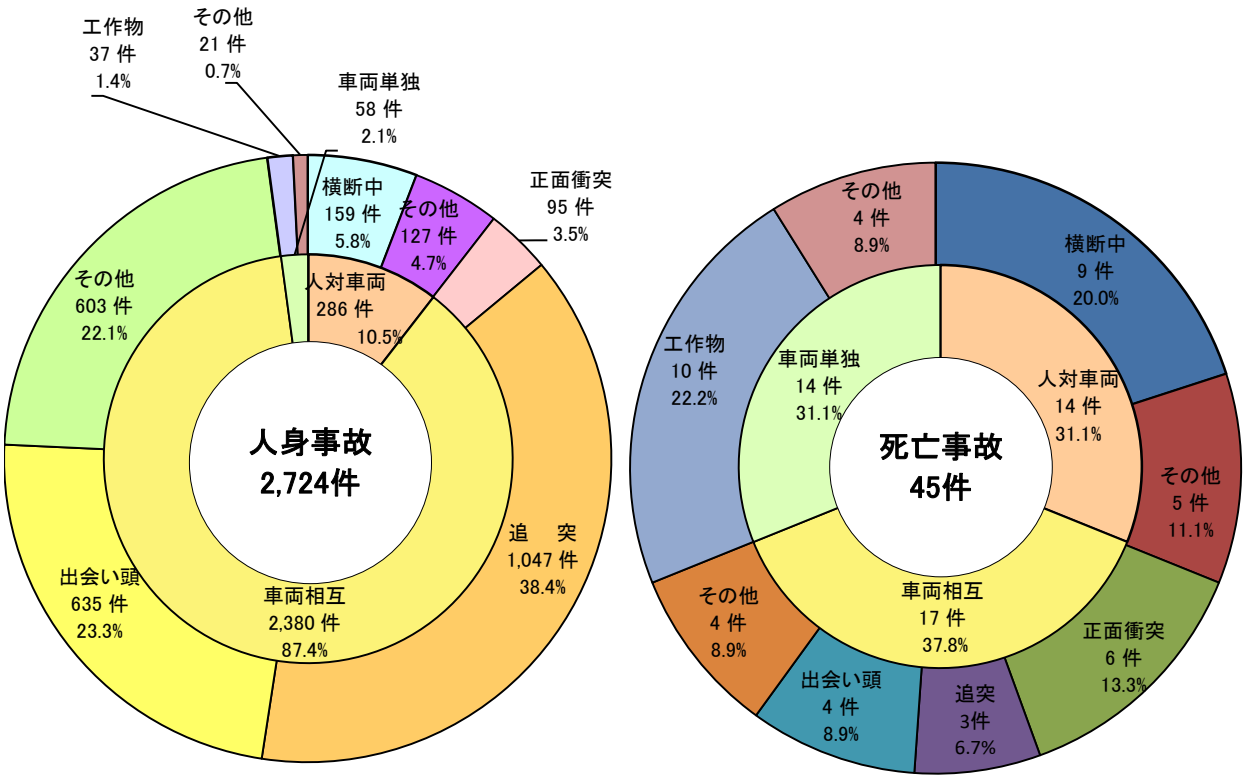
区　分	カーブ・右	カーブ・左	直線	その他	合計
人身事故(件)	58	72	2,428	166	2,724
構成率	2.1	2.6	89.1	6.1	100.0
うち死亡事故(件)	5	5	33	2	45
構成率	11.1	11.1	73.3	4.4	100.0

9 事故類型別



人身事故は、車両相互による追突事故が38.4%を占めています。
死亡事故は、人対車両の歩行者の横断中の事故が20.0%を占めています。

●追突事故は、緊張感の欠如がもたらす最たる事故です。緊張感を持って、前方をよく見て、安全な速度で運転しましょう。

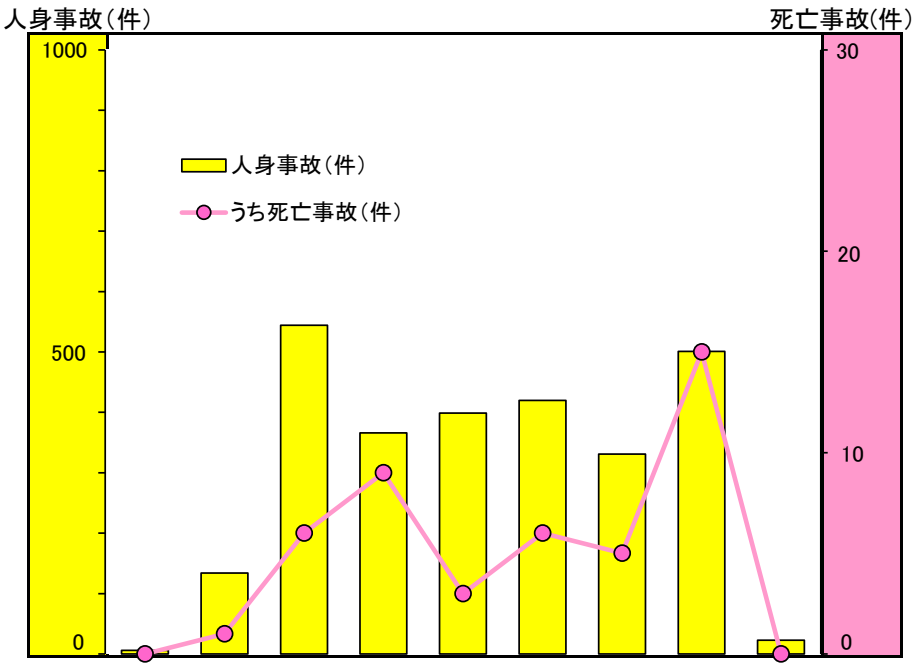


区　分	人対車両					車両相互					車両単独				列	合
	対・背面通行	横断中 横断歩道	横断中 その他	その他	小計	正面衝突	追突	出会い頭	その他	小計	工作物	路外逸脱	その他	小計	車	計
人身事故(件)	52	102	57	75	286	95	1,047	635	603	2,380	37	4	17	58	0	2,724
構成率	1.9	3.7	2.1	2.8	10.5	3.5	38.4	23.3	22.1	87.4	1.4	0.1	0.6	2.1	0.0	100.0
うち死亡事故(件)	1	4	5	4	14	6	3	4	4	17	10	2	2	14	0	45
構成率	2.2	8.9	11.1	8.9	31.1	13.3	6.7	8.9	8.9	37.8	22.2	4.4	4.4	31.1	0.0	100.0

10 第1当事者の年齢層別

人身事故、死亡事故ともに高齢者が最も多いです。第1当事者が高齢者である死亡事故が、全死亡事故の37.8%を占めています。

●道路を利用する全ての人が交通ルールを守り、お互いに注意して、交通事故を起こさないようにしましょう。



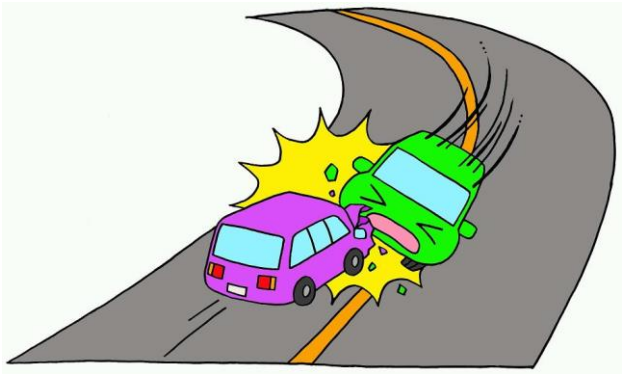
区分	10歳未満	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明	合計
人身事故(件)	6	134	544	366	399	420	331	501	23	2,724
構成率%	0.2	4.9	20.0	13.4	14.6	15.4	12.2	18.4	0.8	100.0
うち死亡事故(件)	0	1	6	9	3	6	5	15	0	45
構成率%	0.0	2.2	13.3	20.0	6.7	13.3	11.1	33.3	0.0	100.0

こども（中学生以下）	高校生	若年者（16歳～24歳）	高齢者（65歳以上）
28	28	403	652
1.0	1.0	14.8	23.9
0	0	5	17
0.0	0.0	11.1	37.8

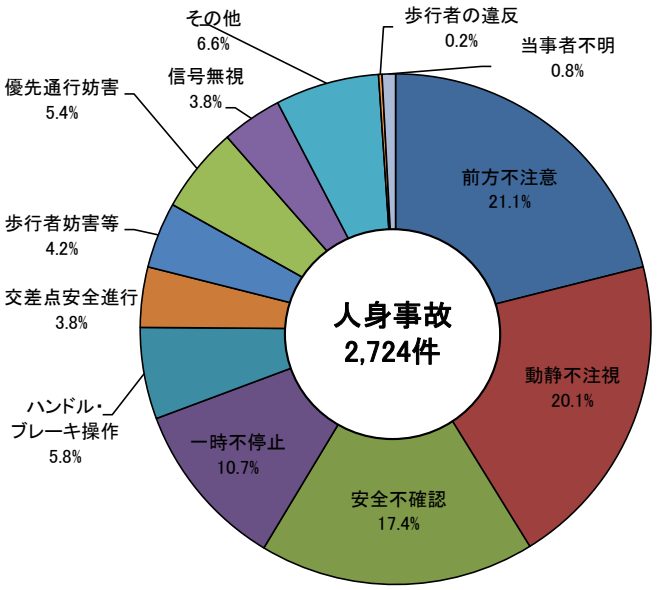
11 第１当事者の事故原因別

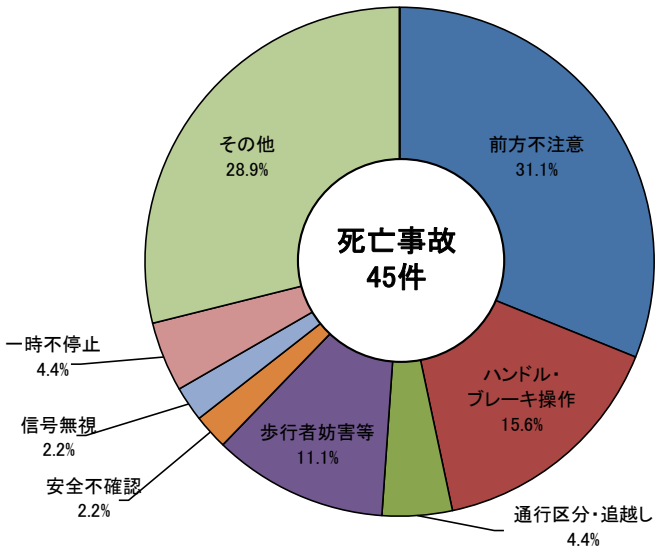
人身事故は、前方不注意、動静不注視、安全不確認による事故が全人身事故の58.6%を占めています。

死亡事故は、前方不注意、ハンドル・ブレーキ操作による事故が全死亡事故の46.7%を占めています。



●運転中は、脇見や携帯電話等のながら運転をせず、運転に集中し、常に進路前方や周囲の状況を確認しましょう。
●自転車や歩行者は、車の動きに注意し、無理な横断などは絶対にやめましょう。





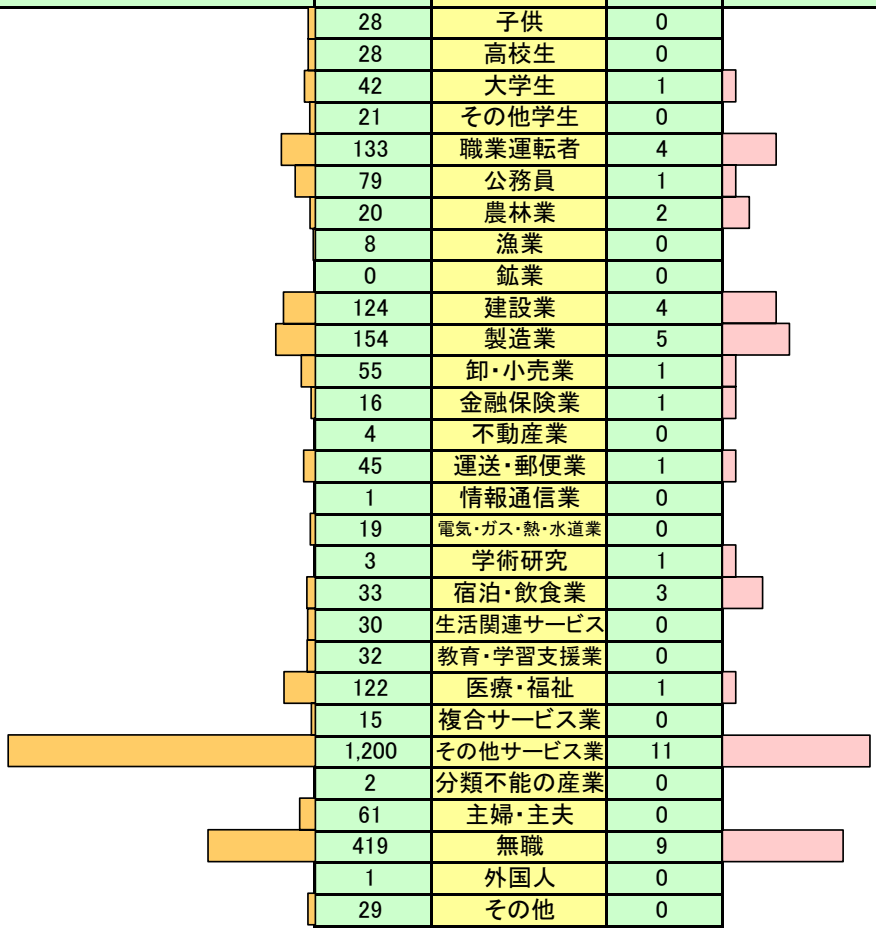
区分	車両等の違反																			歩行者の違反	当事者不明	合計	うち無免許
	信号無視	通行区分・追越し	最高速度	歩行者妨害等	横断自転車妨害等	一時不停止	酒酔い	右・左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行場所	安全運転義務					その他	調査不能	小計				
												ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他							
人身事故(件)	104	26	5	114	27	291	4	8	148	104	20	158	574	548	475	49	29	11	2,695	6	23	2,724	32
構成率	3.8	1.0	0.2	4.2	1.0	10.7	0.1	0.3	5.4	3.8	0.7	5.8	21.1	20.1	17.4	1.8	1.1	0.4	98.9	0.2	0.8	100.0	1.1
うち死亡事故(件)	1	2	3	5	0	2	0	0	3	0	0	7	14	0	1	1	1	5	45	0	0	45	1
構成率	2.2	4.4	6.7	11.1	0.0	4.4	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	15.6	31.1	0.0	2.2	2.2	2.2	11.1	100.0	0.0	0.0	100.0	1.7

※ うち無免許とは、第1当事者が原付以上であった人身事故又は死亡事故のうち、当該第1当事者が無免許であった事故をいいます。
歩行者の違反･･･信号無視、飛び出し等

12 第１当事者の職業別

サービス業従事者（その他サービス業）が第１当事者となる事故が、人身事故の44.1%を占めています。

●家庭や職場などで交通ルールを守ることの大切さを話し合いましょう。



人身事故（件）	職業別	死亡事故（件）
28	子供	0
28	高校生	0
42	大学生	1
21	その他学生	0
133	職業運転者	4
79	公務員	1
20	農林業	2
8	漁業	0
0	鉱業	0
124	建設業	4
154	製造業	5
55	卸・小売業	1
16	金融保険業	1
4	不動産業	0
45	運送・郵便業	1
1	情報通信業	0
19	電気・ガス・熱・水道業	0
3	学術研究	1
33	宿泊・飲食業	3
30	生活関連サービス	0
32	教育・学習支援業	0
122	医療・福祉	1
15	複合サービス業	0
1,200	その他サービス業	11
2	分類不能の産業	0
61	主婦・主夫	0
419	無職	9
1	外国人	0
29	その他	0
2,724	合計	45

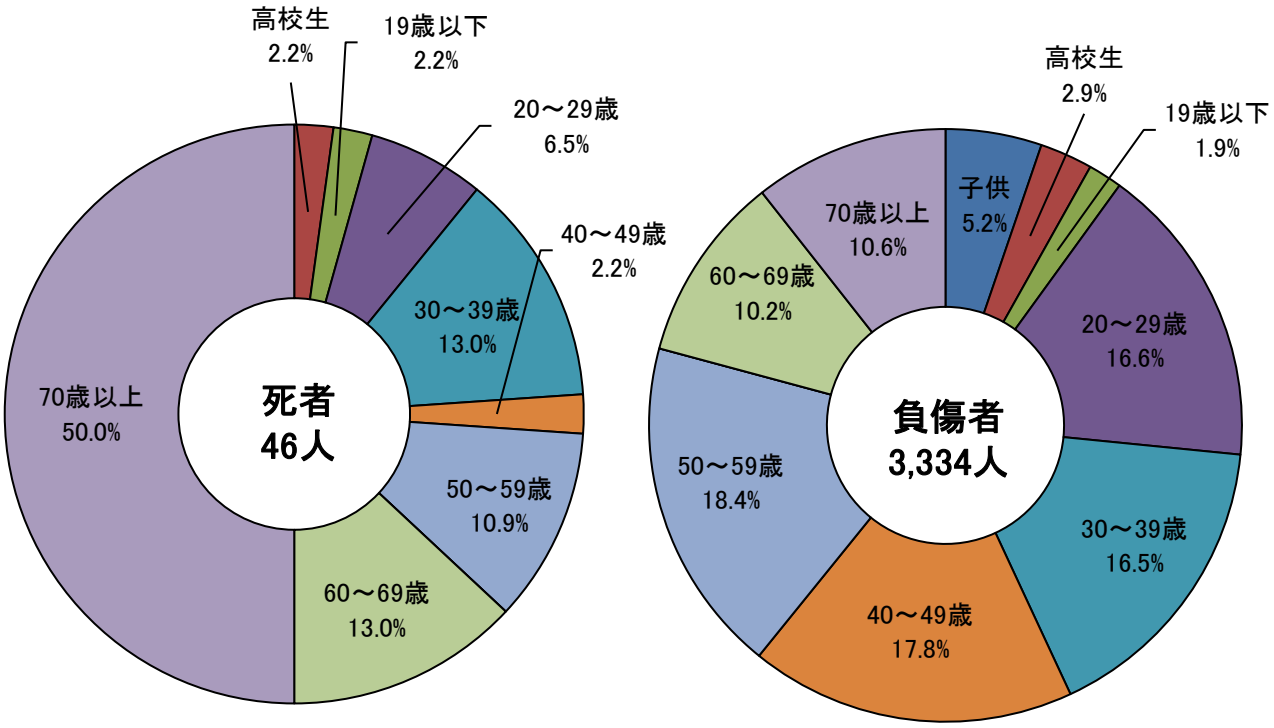
区分	子供	高校生	大学生	その他学生	職業運転者	公務員	農林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	卸・小売業	金融保険業	不動産業	運送・郵便業
人身事故(件)	28	28	42	21	133	79	20	8	0	124	154	55	16	4	45
構成率	1.0	1.0	1.5	0.8	4.9	2.9	0.7	0.3	0.0	4.6	5.7	2.0	0.6	0.1	1.7
うち死亡事故(件)	0	0	1	0	4	1	2	0	0	4	5	1	1	0	1
構成率	0.0	0.0	2.2	0.0	8.9	2.2	4.4	0.0	0.0	8.9	11.1	2.2	2.2	0.0	2.2

区分	情報通信業	電気・ガス・熱水道業	学術研究	宿泊・飲食業	生活関連サービス	教育・学習支援業	医療・福祉	複合サービス業	その他サービス業	分類不能の産業	主婦・主夫	無職	外国人	その他	合計
人身事故(件)	1	19	3	33	30	32	122	15	1,200	2	61	419	1	29	2,724
構成率	0.0	0.7	0.1	1.2	1.1	1.2	4.5	0.6	44.1	0.1	2.2	15.4	0.0	1.1	100.0
うち死亡事故(件)	0	0	1	3	0	0	1	0	11	0	0	9	0	0	45
構成率	0.0	0.0	2.2	6.7	0.0	0.0	2.2	0.0	24.4	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	100.0

13 死傷者の年齢層別

65歳以上の高齢者の死者が、全死者の54.3%を占めています。

●車を運転するときは、速度を控えめにして慎重な運転をしましょう。
●思いやりの気持ちを持って、ゆとりのある運転に努めましょう。



区分	子供	高校生	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	若年者（16歳～24歳）	高齢者（65歳以上）
死者数	0	1	1	3	6	1	5	6	23	46	4	25
構成率	0.0	2.2	2.2	6.5	13.0	2.2	10.9	13.0	50.0	100.0	8.7	54.3
負傷者数	175	96	62	553	550	592	612	340	354	3,334	408	496
構成率	5.2	2.9	1.9	16.6	16.5	17.8	18.4	10.2	10.6	100.0	12.2	14.9

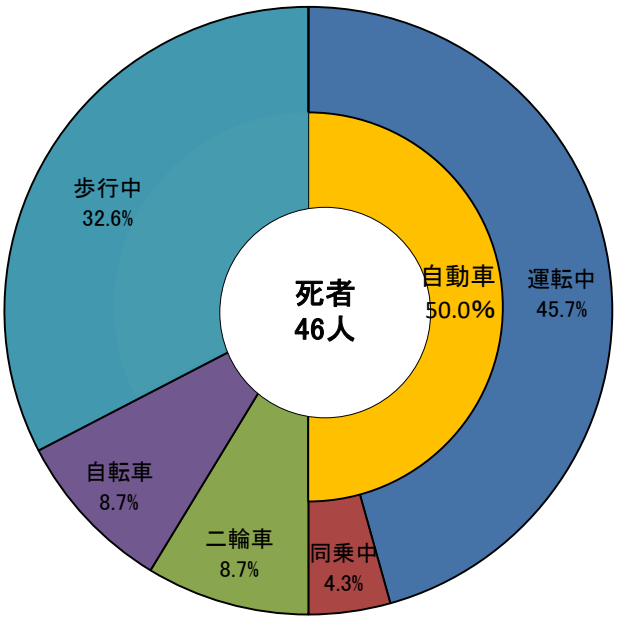
※子供は、中学生以下をいい、年齢区分は、子供と高校生を除いた人数をいいます。

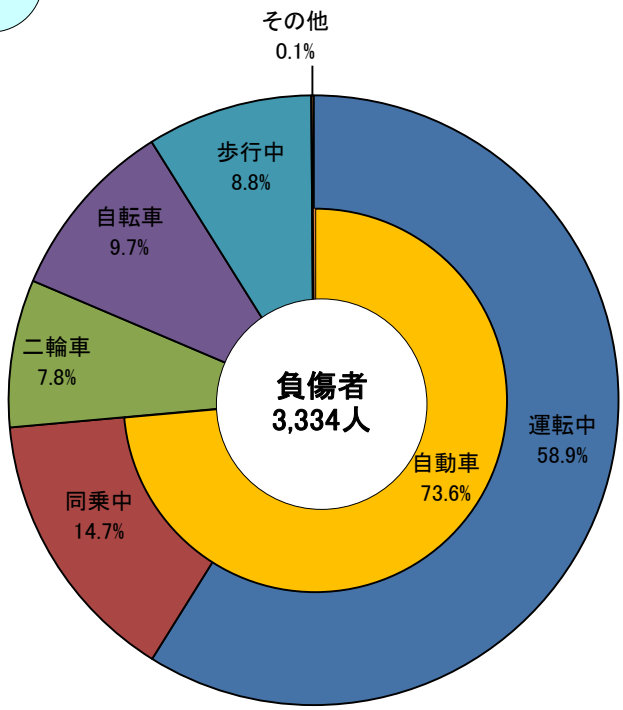
14 死傷者の状態別

死者は、歩行中と自転車乗用中で全死者の41.3%を占めています。

負傷者は、自動車乗車中が73.6%と最も多くなっています。

●道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。
●近くに横断歩道があるときは、横断歩道を渡りましょう。





区分	運転中				同乗中				歩行中	その他	合計
	自動車	二輪車	自転車	小計	自動車	二輪車	自転車	小計			
死者数	21	4	4	29	2	0	0	2	15	0	46
構成率	45.7	8.7	8.7	63.0	4.3	0.0	0.0	4.3	32.6	0.0	100.0
負傷者数	1,963	255	322	2,540	490	6	1	497	293	4	3,334
構成率	58.9	7.6	9.7	76.2	14.7	0.2	0.0	14.9	8.8	0.1	100.0

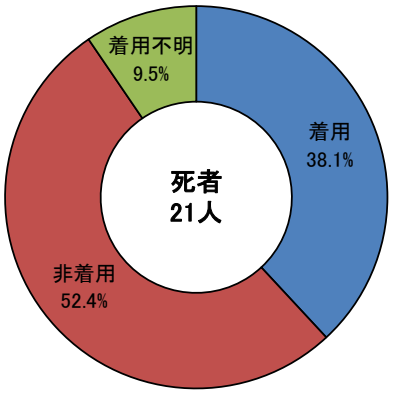
※子供は、中学生以下をいい、年齢区分は、子供と高校生を除いた人数をいいます。

15 シートベルトの着用状況

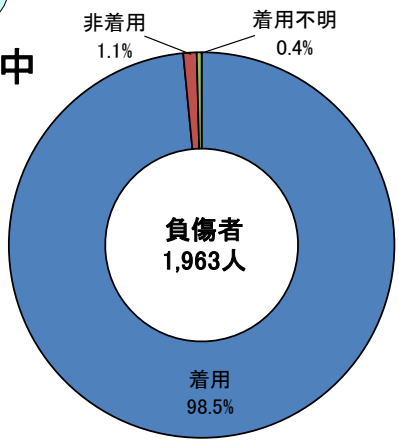
自動車乗車中死者の着用率は、運転中38.1%、同乗中50.0%であり、負傷者の着用率は、運転中98.5%、同乗中90.2%と比べ低くなっています。

- ●シートベルト非着用死者12人中10人（83.3%）が、シートベルトを着用していれば助かったと推定されます。
- ●後部座席を含め、自動車に乗車するときは全ての座席でシートベルトを確実に着用しましょう。

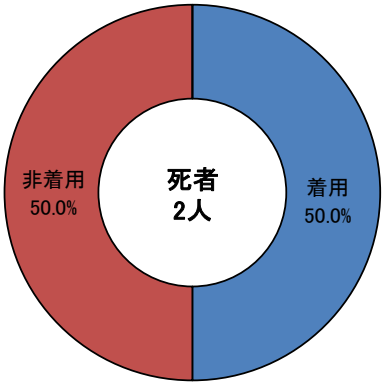
運転中



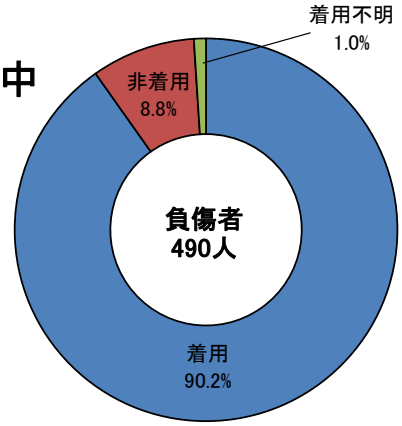
運転中



同乗中



同乗中



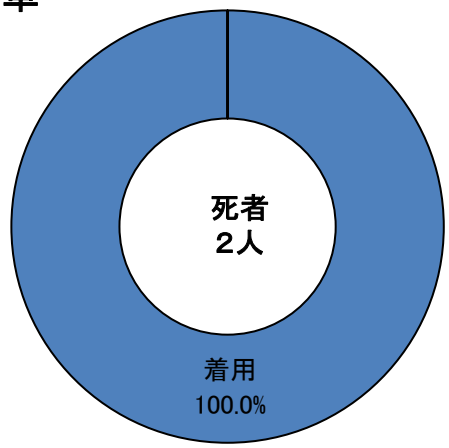
区分		自動車														特殊車		合計		
		大型車		中型車		準中型		普通車		軽自動車		ミニカー		小計						
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	計
死者数	着用	1	0	0	0	0	0	3	1	4	0	0	0	8	1	0	0	8	1	9
	着用率%	50.0	－	0.0	－	－	－	37.5	100.0	40.0	0.0	－	－	38.1	50.0	－	－	38.1	50.0	39.1
	非着用	1	0	1	0	0	0	4	0	5	1	0	0	11	1	0	0	11	1	12
	着用不明	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	2
	計	2	0	1	0	0	0	8	1	10	1	0	0	21	2	0	0	21	2	23
負傷者数	着用	22	0	16	1	21	3	1,059	313	813	125	2	0	1,933	442	0	0	1,933	442	2,375
	着用率%	95.7	0.0	100.0	100.0	100.0	75.0	98.5	90.5	98.7	90.6	66.7	－	98.5	90.2	0.0	－	98.5	90.2	96.8
	非着用	1	1	0	0	0	1	14	30	6	11	1	0	22	43	0	0	22	43	65
	着用不明	0	0	0	0	0	0	2	3	5	2	0	0	7	5	1	0	8	5	13
	計	23	1	16	1	21	4	1,075	346	824	138	3	0	1,962	490	1	0	1,963	490	2,453

16 二輪車運転者のヘルメット着用状況

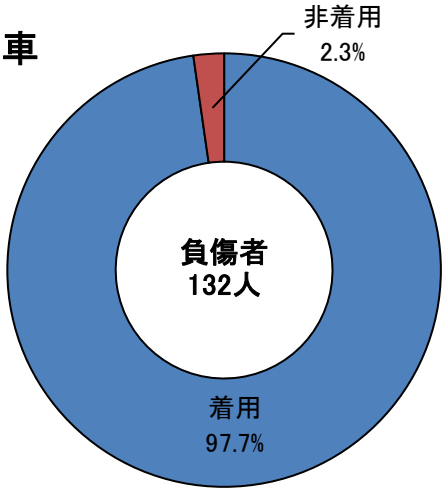
負傷者の2.7%がヘルメット非着用となっています。

●ヘルメットは、あなたの命を守ります。
正しく着用しましょう。

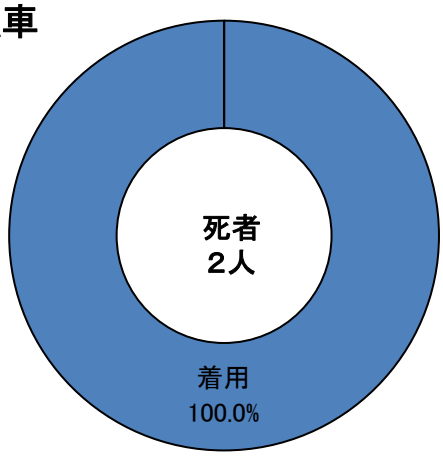
自動二輪車



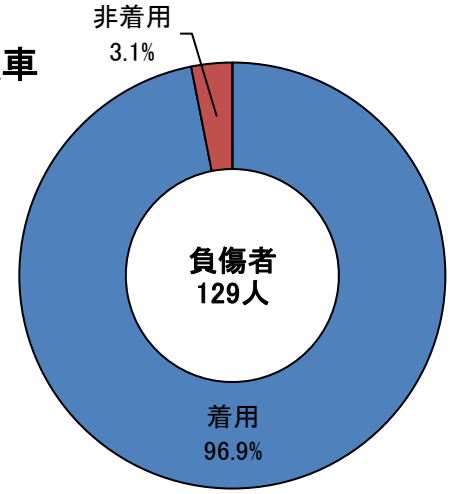
自動二輪車



原付自転車
(50cc)



原付自転車
(50cc)



区分		自動二輪												原付自転車		合計		
		小型二輪						軽二輪		原付二種		小計						
		751cc以上		401～750cc		251～400cc		126～250cc		51～125cc								
		運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	計
死者数	着用	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	4	0	4
	着用率%	100.0	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	100.0	－	100.0	－	100.0	－	100.0
	非着用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	2	0	4	0	4
負傷者数	着用	22	1	5	0	16	1	29	0	54	1	126	3	124	1	250	4	254
	着用率%	100.0	100.0	100.0	－	94.1	100.0	100.0	－	96.4	100.0	97.7	100.0	98.4	33.3	98.0	66.7	97.3
	非着用	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3	0	2	2	5	2	7
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	22	1	5	0	17	1	29	0	56	1	129	3	126	3	255	6	261

第 4　各種の交通事故

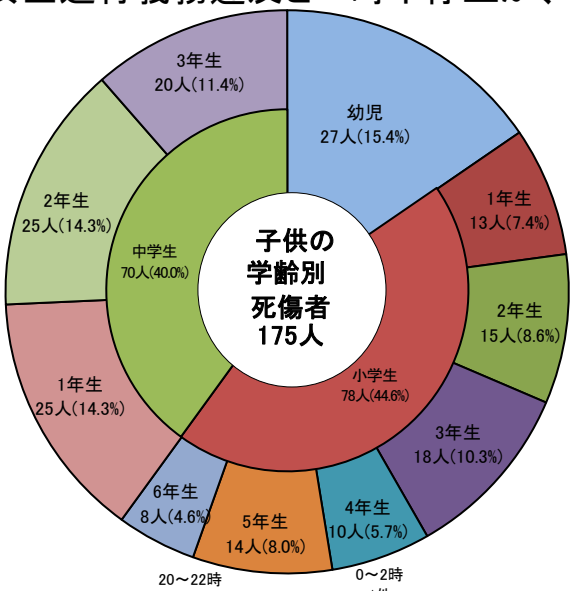
1 子供の交通事故

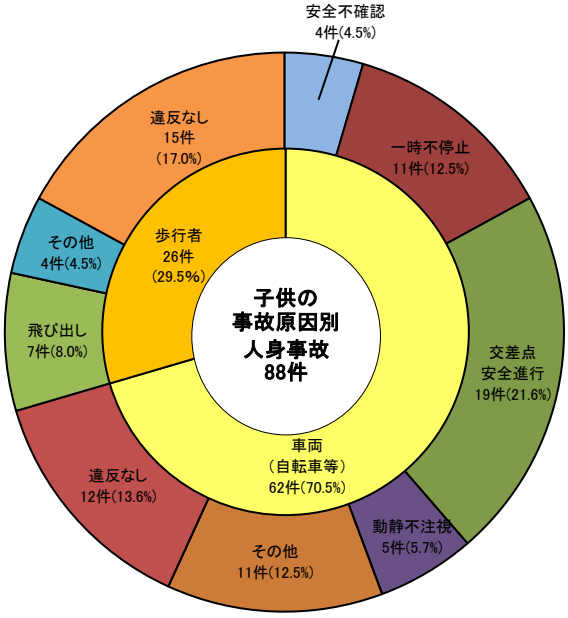
（幼児、小・中学生が関与した事故）

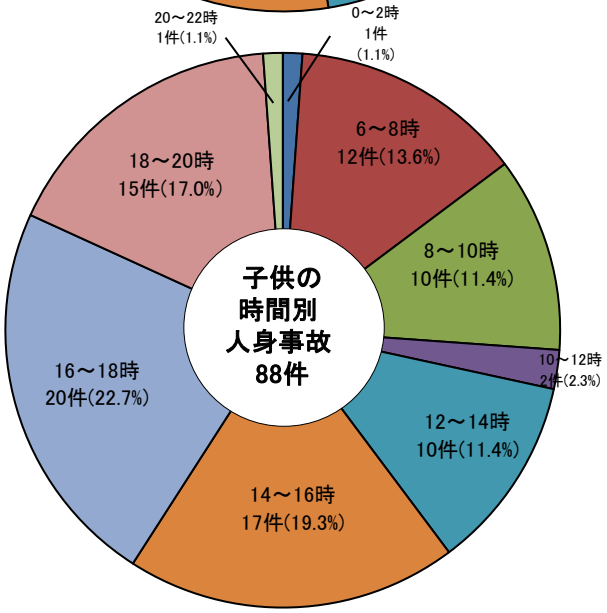
小学生の死傷者が子供の死傷者の44.6%を占めています。

事故原因別では、自転車等は交差点安全進行義務違反と一時不停止が、歩行者は飛び出しが多いです。

●道路を横断するときは、止まって左右の安全を確認してから横断しましょう。
●大人が手本となって交通ルールを教えましょう。







※子供同士の事故はなし
※死者はなし
※車両は原付3件を含む

●子供の交通事故発生状況

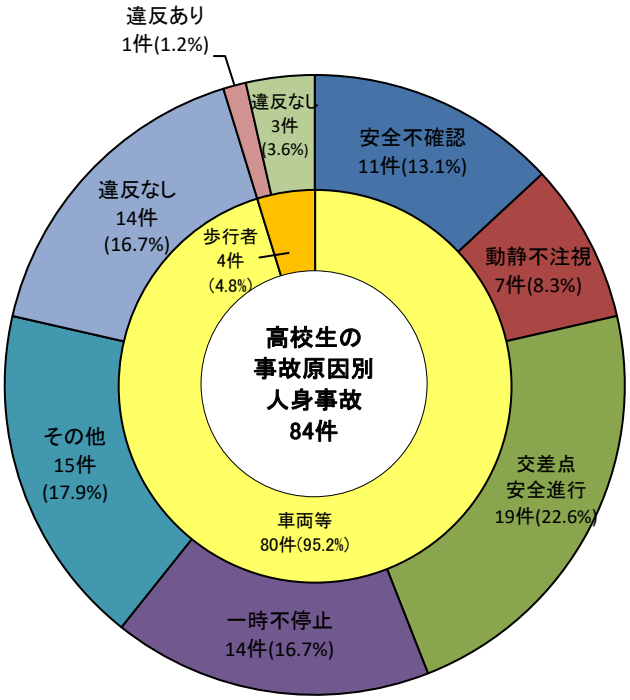
区　分	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
人身事故(件)	215	181	177	128	103	76	80	88	112	88
死者数	1	2	2	0	1	0	0	1	7	0
負傷者数	599	588	459	340	258	190	180	202	251	175
死傷者率	6.2	7.1	6.4	5.5	5.4	5.0	5.3	5.5	6.7	5.2

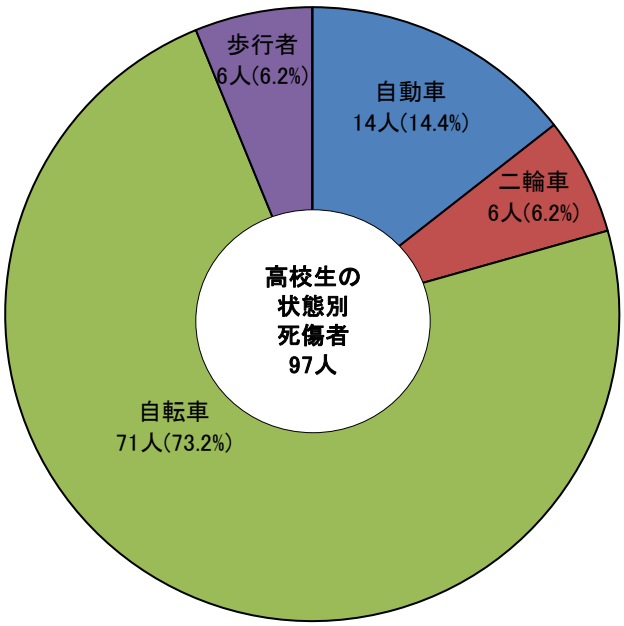
2 高校生の交通事故

自転車乗用中の死傷者が、73.2%を占めています。

車両等の事故原因別では、交差点安全進行と一時不停止で39.3%を占めています。

●自転車に乗るときは、交通ルールを守り、交通安全を徹底しましょう。





※死者の内訳は、自転車乗用中1人

※高校生同士の事故1件を重複計上

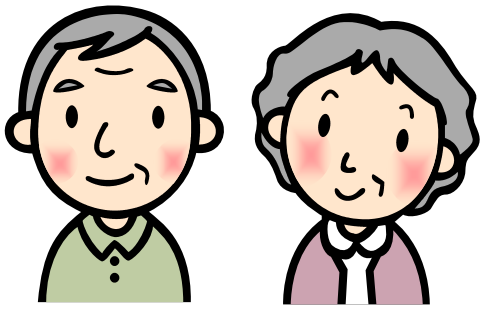
※車両等のうち原付以上による事故は10件、自転車による事故は70件

●高校生の交通事故発生状況

区　　分	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
人身事故(件)	168	141	144	133	86	88	66	87	92	83
死 者 数	0	0	1	2	1	1	1	0	1	1
負傷者数	227	210	173	169	118	99	76	117	113	96
死 傷 者 率	2.4	2.5	2.4	2.7	2.5	2.6	2.3	3.2	3.0	2.9

3 高齢者の交通事故

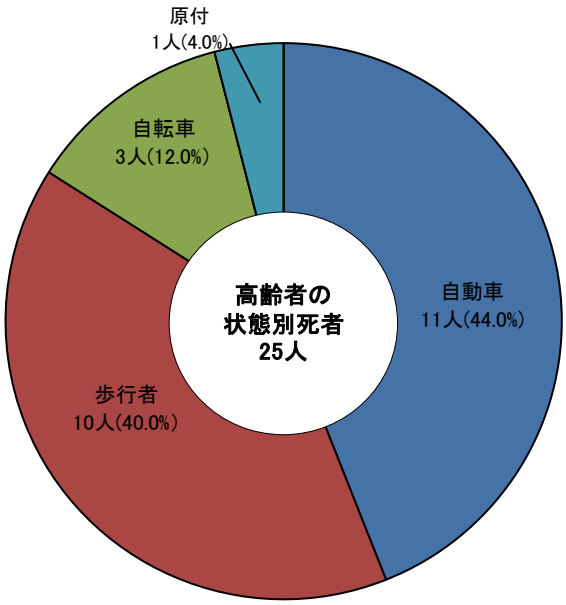
（年齢65歳以上の人が関与した事故）

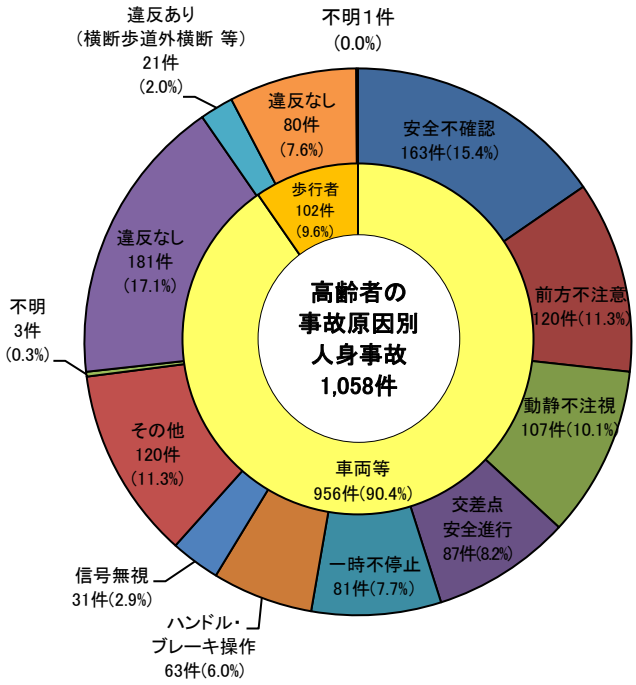


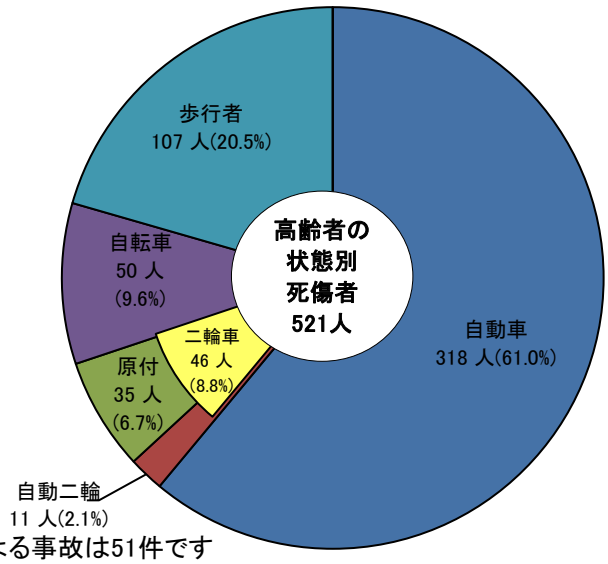
(1)全体

状態別死者では、歩行中と自転車乗用中が52.0%を占めています。

●加齢に伴い、
・視力の低下
・視野の狭まり
・聴力の低下
など、身体機能の変化があることを理解しましょう。







※高齢者同士の事故133件を重複計上

※車両等のうち原付以上による事故は905件、自転車による事故は51件です

●高齢者の交通事故発生状況

区　分		平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
人身事故（件）		2,151	1,843	1,638	1,509	1,204	987	883	960	1,025	925
	死 者 数	52	52	37	57	42	39	40	41	33	25
	負傷者数	1,448	1,224	999	959	755	574	491	532	527	496
死 傷 者 率		15.6	15.5	14.4	16.3	16.7	16.1	15.6	15.5	14.6	15.4

(2)高齢運転者

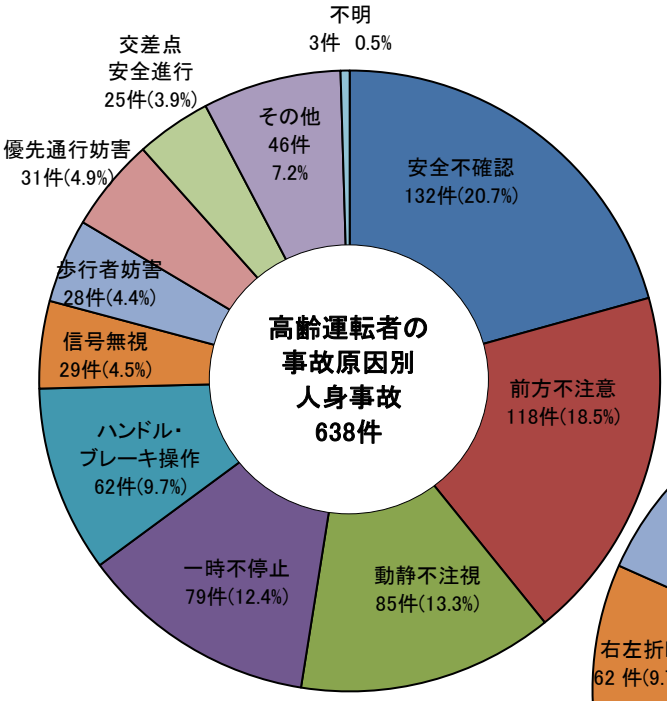
（年齢65歳以上で原付以上の運転者が第1当事者になった事故）

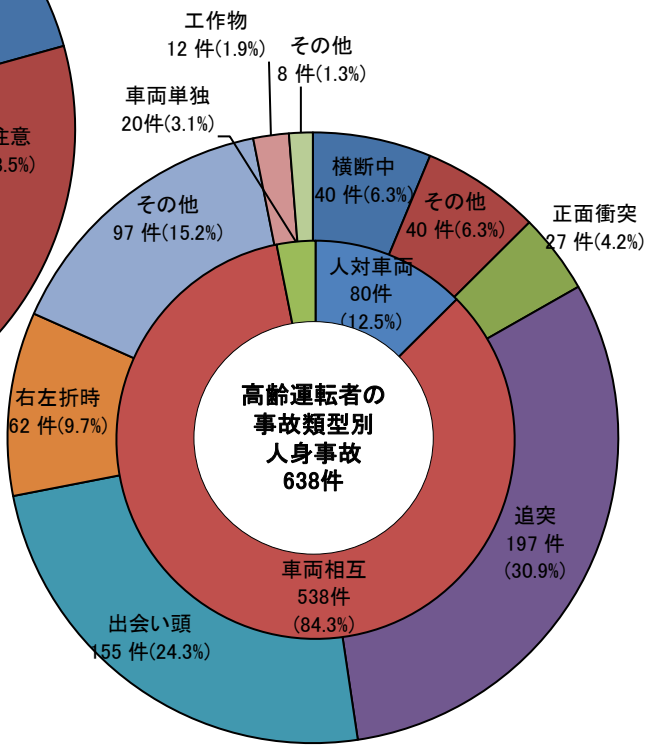
事故原因別では、安全不確認、前方不注意、動静不注視で全体の52.5%を占めています。

事故類型別では、追突と出会い頭で55.2%を占めています。

●運転中は、常に周囲の状況に注意を払い、安全運転を心掛けましょう。
●高齢運転者標識を付けた自動車への幅寄せや割り込みはやめましょう。

運転に不安を感じたら免許証の自主返納も１つの方法です。





●高齢運転者の交通事故発生状況

区　分	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
人身事故（件）	1,331	1,136	1,041	968	783	663	581	644	729	638
構成率	19.4	19.8	20.1	21.5	22.5	23.5	22.4	23.2	25.6	24.4
うち死亡事故（件）	28	24	10	22	28	20	19	23	21	16
構成率	37.8	27.9	14.1	29.7	43.1	29.9	37.3	44.2	35.0	36.4

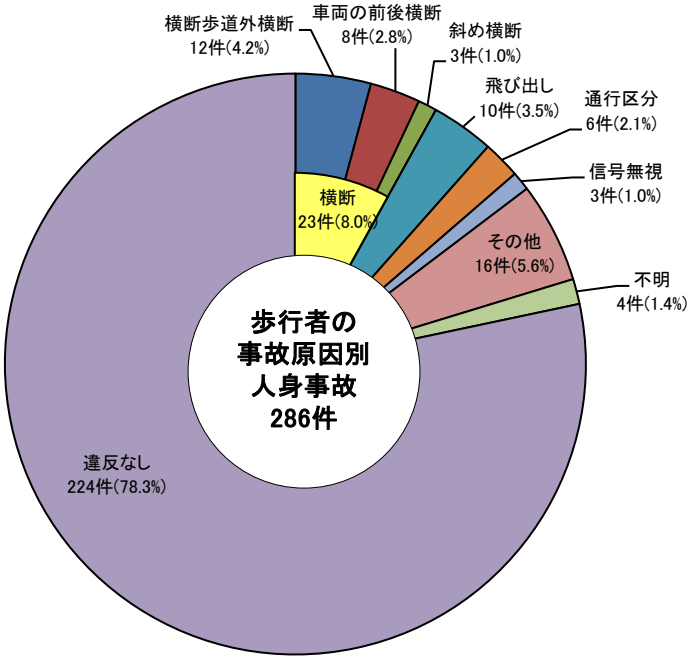
※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める高齢運転者による事故の割合

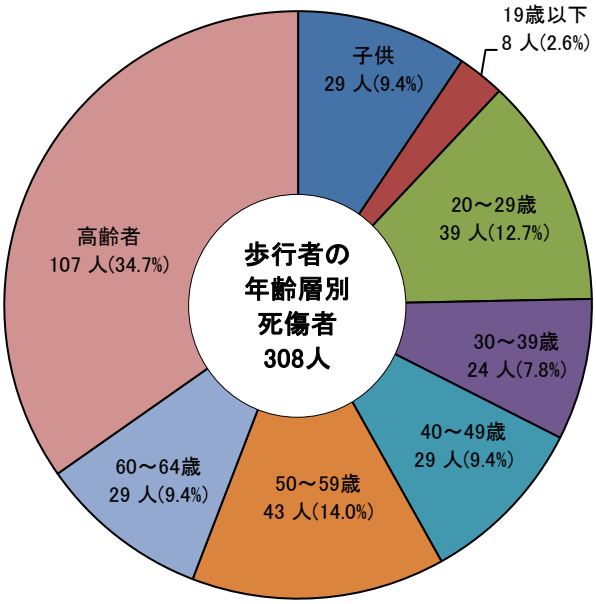
4 歩行者の交通事故

歩行者の20.3%に何らかの違反があり、そのうち、横断に関する違反が最も多くなっています。※「違反なし」と「不明」を除く法令違反の合計

年齢層別では、高齢者の死傷者が34.7%を占めています。

●道路を横断するときは、横断歩道を利用しましょう。
●車のかげからの飛び出しは、危険ですから絶対にやめましょう。
●夕暮れ時や夜間に外出するときは、明るい服装で反射材用品等を身に着けましょう。





※死者15人の内訳は、20～29歳１人、30～39歳１人、40～49歳１人
50～59歳１人、60～64歳1人、高齢者10人です。

●歩行者の交通事故発生状況

区　分	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
人身事故(件)	552	479	486	398	331	331	301	266	338	286
死 者 数	28	37	26	25	24	26	21	21	18	15
負傷者数	549	467	490	382	329	320	288	255	339	293
死 傷 者 率	6.0	6.1	7.2	6.5	7.4	9.1	9.1	7.5	9.3	9.1

5 自転車の交通事故

(1)全体

事故原因別では、安全不確認、交差点安全進行、動静不注視で全体の49.7%を占めています。

年齢層別では、高校生以下の死傷者が39.8%を占めています。

自転車安全利用五則

1 車道が原則、左側を通行　歩道は例外、歩行者を優先

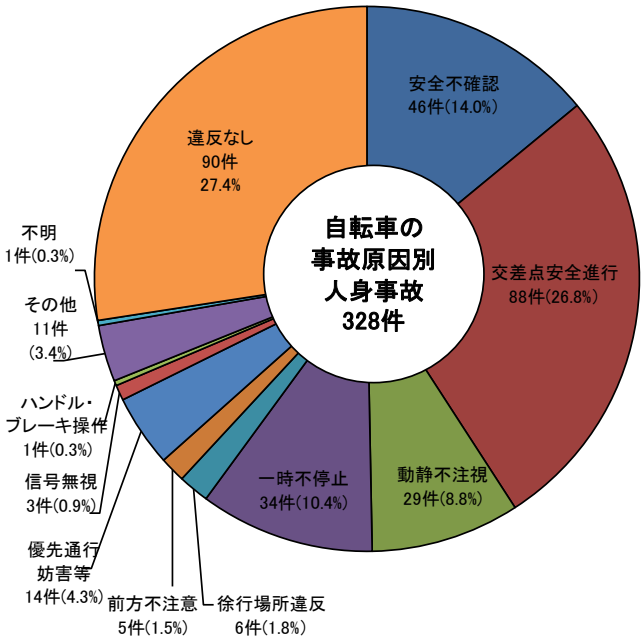
2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

3 夜間はライトを点灯

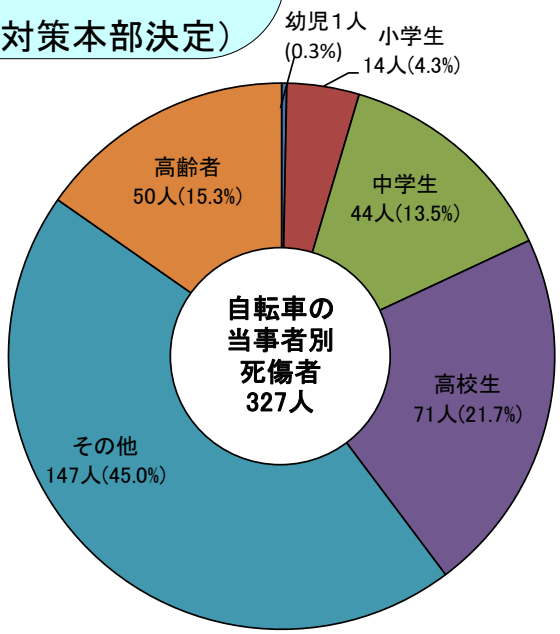
4 飲酒運転は禁止

5 ヘルメットを着用

（令和4年11月1日交通対策本部決定）



※自転車同士の事故4件を重複計上



※ 死者4人の内訳は、高校生1人、高齢者3人です。

●自転車の交通事故発生状況

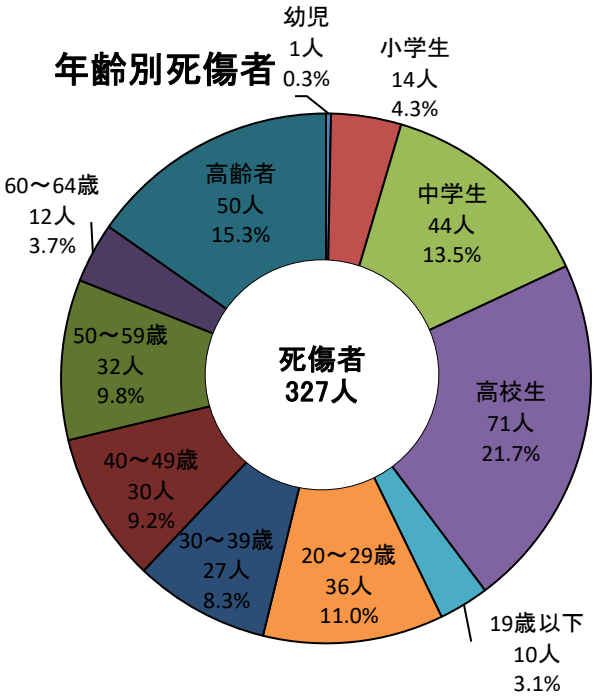
区分		平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
人身事故(件)		750	633	635	531	426	372	339	395	404	324
	死 者 数	12	12	15	14	6	9	10	8	7	4
	負傷者数	737	621	613	511	424	355	328	391	394	323
死傷者率		7.8	7.7	8.7	8.4	9.0	9.6	9.9	10.8	10.5	9.7

(2)年齢別のヘルメット着用状況

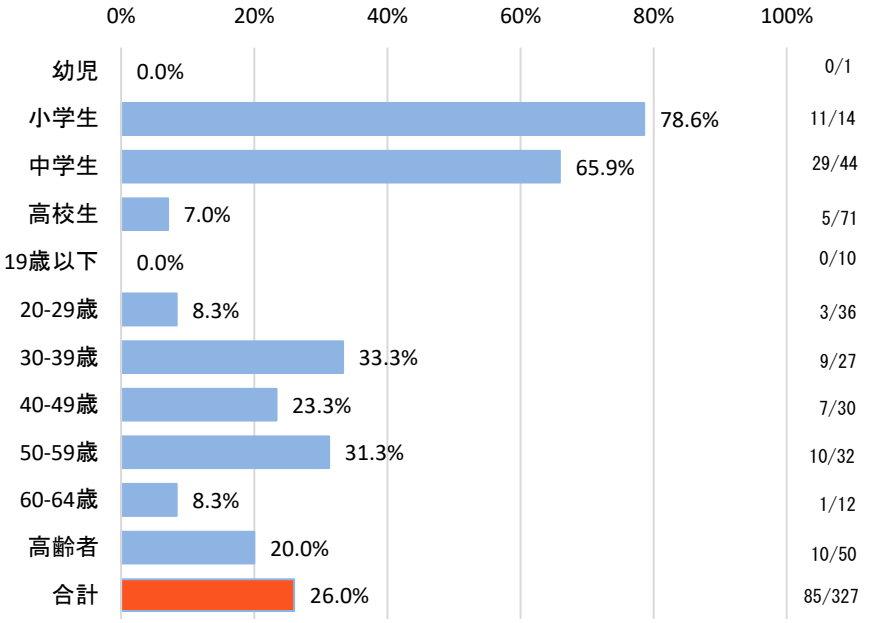
自転車乗用中死傷者のヘルメットの着用率は26.0%でした。

●ヘルメットは、あなたの命を守ります。
正しく着用しましょう。

年齢別死傷者



年齢別ヘルメット着用率



※　グラフ内の数字は、ヘルメット着用者／自転車乗用中死傷者

区分		幼児	小学生	中学生	高校生	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	合計
死者数	着用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	着用率%	－	－	－	0.0	－	－	－	－	－	－	－	－	33.3	25.0
	非着用	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	着用不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4
負傷者数	着用	0	11	29	5	0	3	9	7	10	1	2	2	5	84
	着用率%	0.0	78.6	65.9	7.1	0.0	8.3	33.3	23.3	31.3	8.3	25.0	20.0	17.2	26.0
	非着用	1	3	15	62	10	33	18	22	20	11	6	8	24	233
	着用不明	0	0	0	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	6
	計	1	14	44	70	10	36	27	30	32	12	8	10	29	323

子供	高齢者（65歳以上）	高齢者（70歳以上）
0	1	1
0.0	33.3	33.3
0	2	2
0	0	0
0	3	3
40	9	7
67.8	19.1	17.9
19	38	32
0	0	0
59	47	39

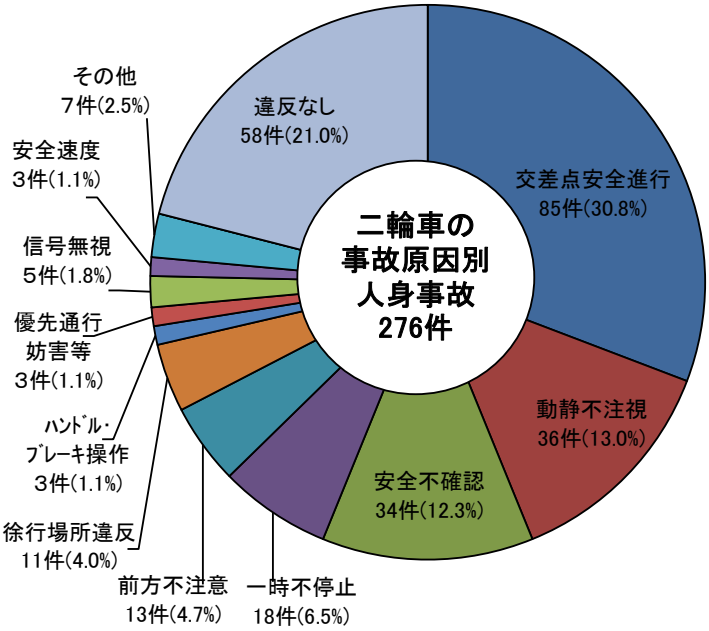
※子供は、中学生以下をいい、高齢者は、65歳以上をいう。

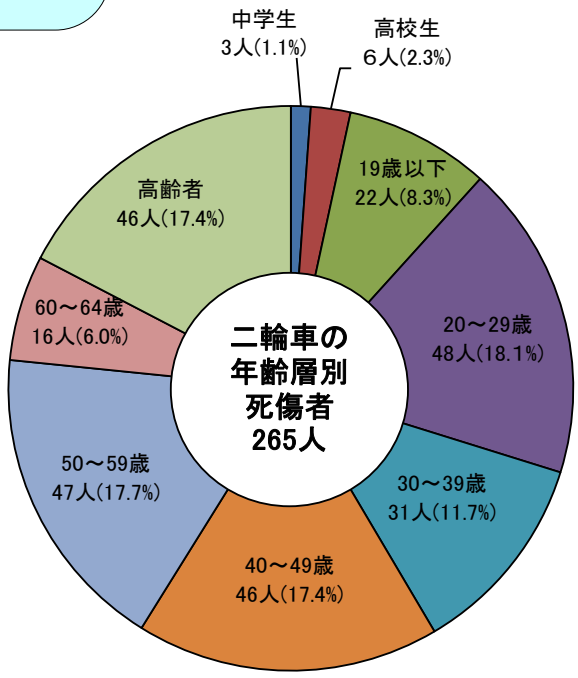
6 二輪車の交通事故

事故原因別では、交差点安全進行・動静不注視・安全不確認で全体の56.2%を占めています。

年齢層別では、20～29歳の死傷者が、18.1%を占めています。

●交差点を進行するときは、必ず安全を確認しましょう。
●二輪車を運転するときは、正しい乗車姿勢を保ち、ヘルメットを正しく着用するとともに、プロテクターを着用しましょう。





※ 二輪車同士の事故2件を重複計上
※ 無免許は11件

※ 死者4人の内訳は、19歳以下1人、20～29歳1人、60～64歳1人、65歳以上1人です。

●二輪車の交通事故発生状況

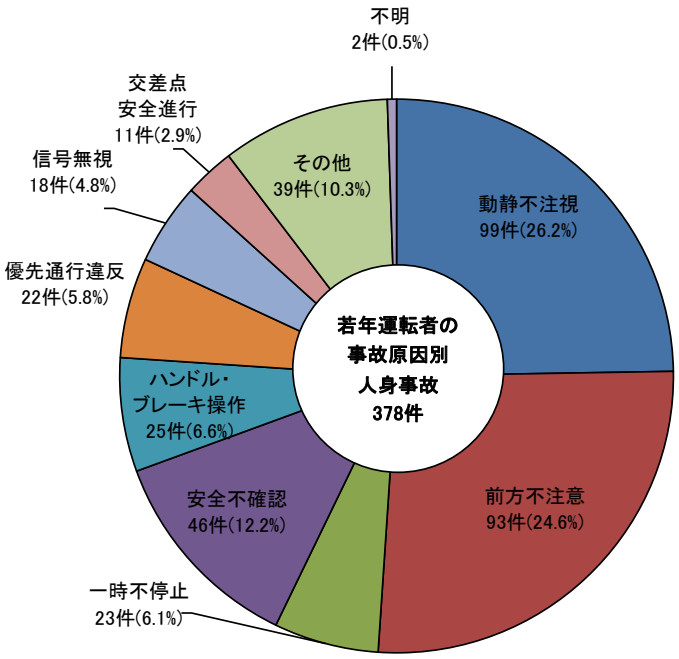
区分		平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
人身事故(件)		687	629	477	446	328	307	271	271	270	274
	死 者 数	15	17	10	13	16	15	9	6	14	4
	負傷者数	655	594	449	409	287	286	259	253	237	261
死傷者率		7.0	7.4	6.4	6.8	6.4	7.9	7.9	7.0	6.5	7.8

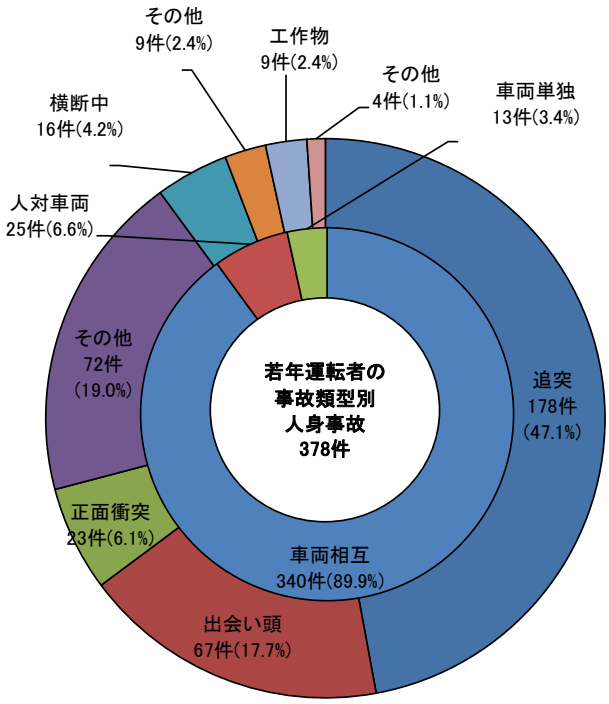
7 若年運転者の交通事故

（年齢16～24歳の原付以上の運転者が第1当事者となった事故）

人身事故の事故原因別では、動静不注視、前方不注意、安全不確認で全体の63.0%を占め、事故類型別では追突が47.1%を占めています。

●速度が速いほど、停止距離が長くなり、衝突時の衝撃が大きくなります。安全な速度で運転しましょう。
●交通ルールを遵守して、常に周囲の状況に注意を払いましょう。





●若年運転者の交通事故発生状況

区分	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
人身事故（件）	1,155	977	850	741	567	454	374	431	403	378
構成率	16.9	17.0	16.4	16.5	16.3	16.1	14.4	15.5	14.2	14.4
うち死亡事故（件）	6	9	9	11	1	11	5	6	10	5
構成率	8.1	10.5	12.7	14.9	1.5	16.4	9.8	11.5	16.7	11.4

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める若年運転者による事故の割合です。

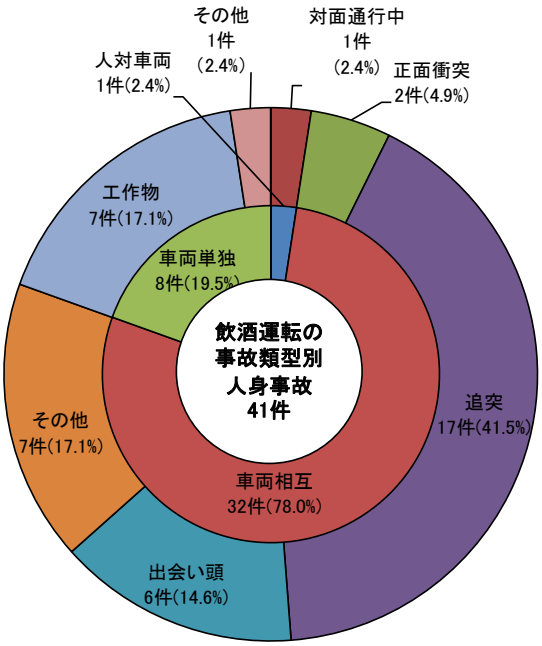
8 飲酒運転の交通事故

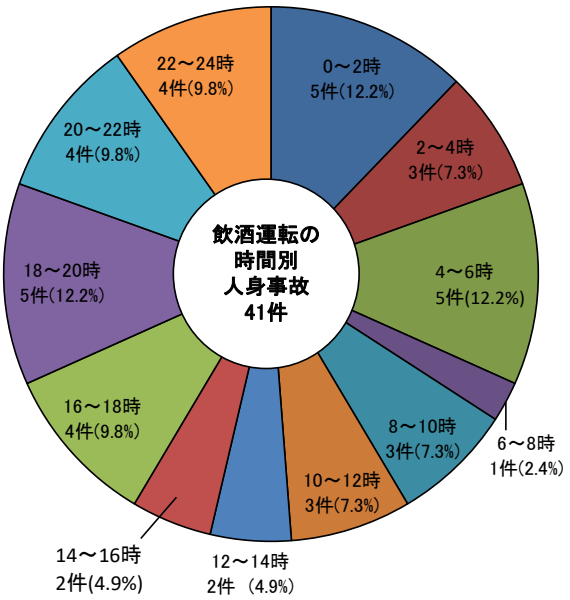
（原付以上の運転者が、飲酒運転をして第１当事者となった事故）

飲酒運転の人身事故は41件発生し、事故類型別では追突が41.5%を占めており、時間別では0時～2時、4時～6時、18時～20時の発生がそれぞれ12.2%と多くなっています。

飲酒運転の死亡事故は6件発生し、事故類型別では車両相互2件、車両単独4件で、時間別では0時～2時、12時～14時、18時～20時にそれぞれ2件発生しています。

●アルコールの影響で適切な判断や運転操作ができず、事故を引き起こす危険性が高くなります。
●一人一人が、飲酒運転は絶対に「しない」「させない」「許さない」ことを徹底し、飲酒運転を根絶しましょう。





区分	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
人身事故（件）	44	36	34	42	36	37	28	42	32	41
構 成 率	0.6	0.6	0.7	0.9	1.0	1.3	1.1	1.5	1.1	1.6
うち死亡事故（件）	1	1	5	3	2	5	1	4	4	6
構 成 率	1.4	1.2	7.0	4.1	3.1	7.5	2.0	7.7	6.7	13.6

※構成率は、原付以上の運転者が第1当事者になった事故に占める飲酒運転者による事故の割合です。